

安全・安心な水を届けるために

上下水道局では市民の生活を支えるライフラインを守るために、積極的に事業を進めています。昨年度から行ってきた主な事業を紹介します。

基幹管路耐震化事業 山原地内基幹管路耐震化工事



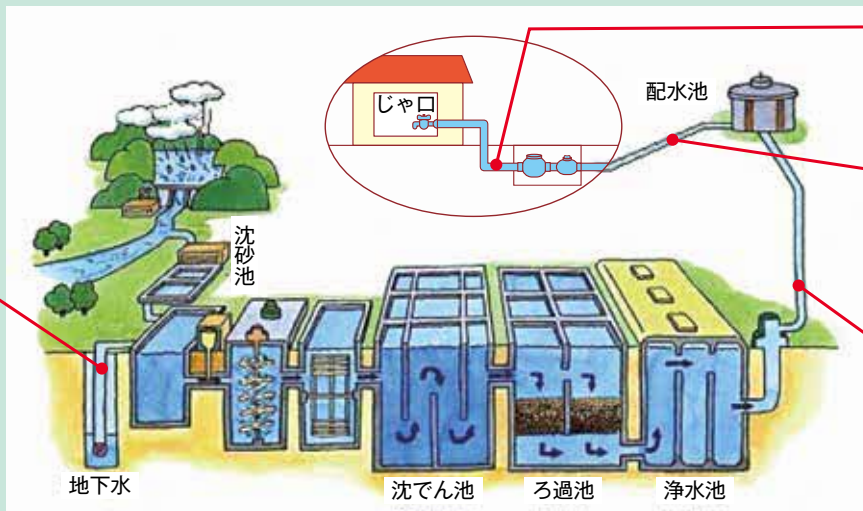
水道管には、導水管、送水管、配水管、給水管と名称があり、皆さんの家庭まで、下図に示す管路を通して、水道水を届けています。

川西市の管路の総延長は、平成30年度末時点で約621kmあり、内訳は、導水・送水管が約23km、配水管が約598kmです。

管路の現状については約30%が既に法定耐用年数を迎えており、今後15年で約75%が法定耐用年数を迎えます。今後、老朽化による漏水や破損事故などが懸念されることから、優先順位を決めながら更新に努めています。具体的には、災害時の破損事故が発生した場合に被害が膨大になることを踏まえ、基幹管路（導水管、送水管、配水管の一部）を優先的に更新しており、平成30年度末時点では、約6.1kmが完了しています。

大切な水をご家庭に届けるまでのしくみ

導水管
原水（河川の水や地下水など）を取水施設から浄水場まで送る管のこと



給水管
各家庭に水を送る管のこと

配水管
配水池から各家庭の家の前まで送る管のこと

送水管
浄水場で処理した浄水を配水池などに送る管のこと

基幹施設の耐震化 清和台配水池築造工事



配水池は、家庭に届ける水を蓄えるところになります。震災時でも安全な水を届けるために、市内にある21か所（28池）の配水池を地震に強い施設に順次建て替えています。

平成30年度までに全28池を対象とした耐震調査を実施しました。その結果をもとに優先順位を決め、更新・補強を実施し、平成30年度から2か年で清和台配水池を更新しています。

清和台配水池は、約5,100世帯に絶え間なく水を送っているタンクで、1池1,300㎡の容量の池2つ（2,600㎡）を有するコンクリート製の配水池です。今回の工事では、地域の水需要を満たしながらより効率的な水運用が実施できるよう、1池1,000㎡の池2つ（2,000㎡）に縮小化をはかり、材料としてはステンレス材を採用し、地震などの災害に耐えられる配水池にしています。